

令和7年度 第1回水道審議会資料

東松山市水道事業

令和7年7月4日（金）

目次

• 水道審議会について	P 2 ～ 4
• 地方公営企業とは	P 5
• 水道事業について	P 6 ～ 8
• 経営戦略について	P 1 9 ～ 1 9
• 水道料金について	P 2 0 ～ 2 4

水道審議会について

根拠法令

- 東松山市水道審議会条例

所管事項

- 市長の諮問に応じ、水道事業の休止又は廃止、水道料金の改定、水道事業に係る重要な財産の取得及び処分について審議する

組織

- 委員10人以内
- 水道利用者 5人以内
- 知識経験を有するもの 5人以内

水道審議会について

会議の進め方

- 会長、副会長は互選
- 定足数は委員の過半数の出席
- 議事は出席した委員の過半数で議決
可否同数の時は委員長の議決

その他

- 資料は事前送付を基本とする。
- 欠席の場合は、メール、文章等でご意見など事前に提出。

水道審議会の今後の開催予定

今後の審議会予定について

	時期	審議事項
第2回	8月	総括原価の確認 料金体系の検討
第3回	10月	料金体系の検討 料金改定の回数等の検討
第4回	11月	答申案の検討

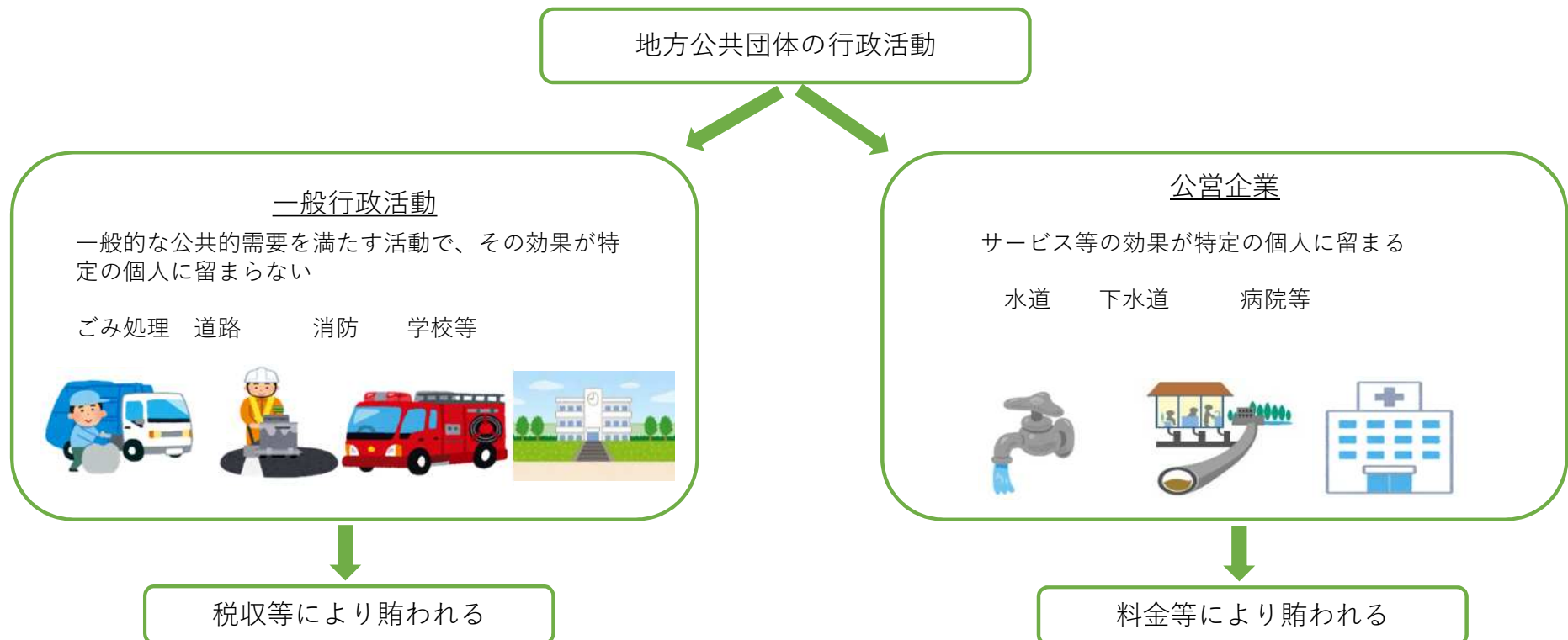
地方公営企業とは

地方公営企業

地方公共団体が行う事業のうち企業と観念されるもの

一般会計：税収等を財源として事業を行う

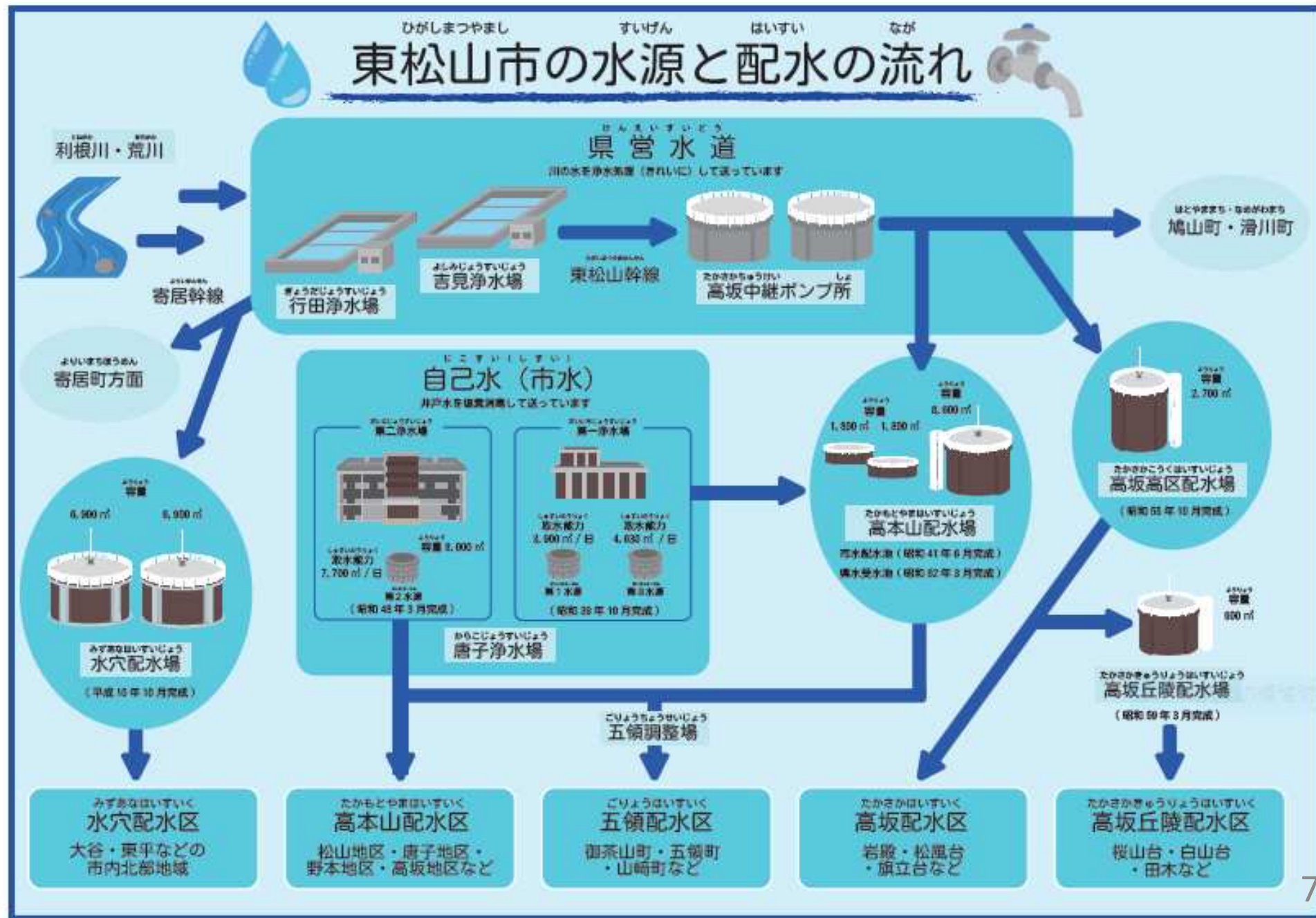
公営企業：原則として事業の経営に伴う料金収入を財源として事業を行う



水道事業について～沿革～

事業	時期・期間	事業内容等
創設事業の認可	S37年度	S35年7月 上水道事業創設調査委員会発足 S37年4月 上水道事業基本計画樹立 S37年12月 上水道創設事業認可
創設事業	S38年度～S42年度	計画給水人口：50,000人 第一浄水場建設、高本山配水場建設(2池) S39年11月より給水開始
第1期拡張事業	S45年度～S50年度	計画給水人口：72,000人 水道庁舎建設、及び水道庁舎地下の配水池建設 第二水源の開発
第2期拡張事業	S53年度～S55年度	計画給水人口：67,900人 腰塚配水場建設、高坂高区配水場建設 口径2,600mmの緊急貯水槽設置(五領調整場)
第3期拡張事業	S56年度～S57年度	計画給水人口：67,300人 第一浄水場内に第三水源の開発 耐震管布設
第4期拡張事業	S60年度～S62年度	計画給水人口：93,900人 高本山県水受水池建設、配水管布設工事
第5期拡張事業	H8年度～H12年度	計画給水人口：106,000人 水穴配水場建設、配水管布設工事

水道事業について～施設の概要～



水道事業について～方針・計画～

水道ビジョン

(R1年度～R10年度) 10年間

- 東松山市水道事業の理想像を掲げ、具体的な取組施策を示す

アセットマネジメント

(H30年度～R39年度) 40年間

- 超長期の水需要、更新需要及び財政収支の見通し

経営戦略

(R6年度～R15年度) 10年間

- 中長期的な経営の基本計画

水道事業経営戦略について～概要～

趣旨

水道ビジョンに掲げた施策を実施するための計画期間10年間の経営の基本計画

計画期間

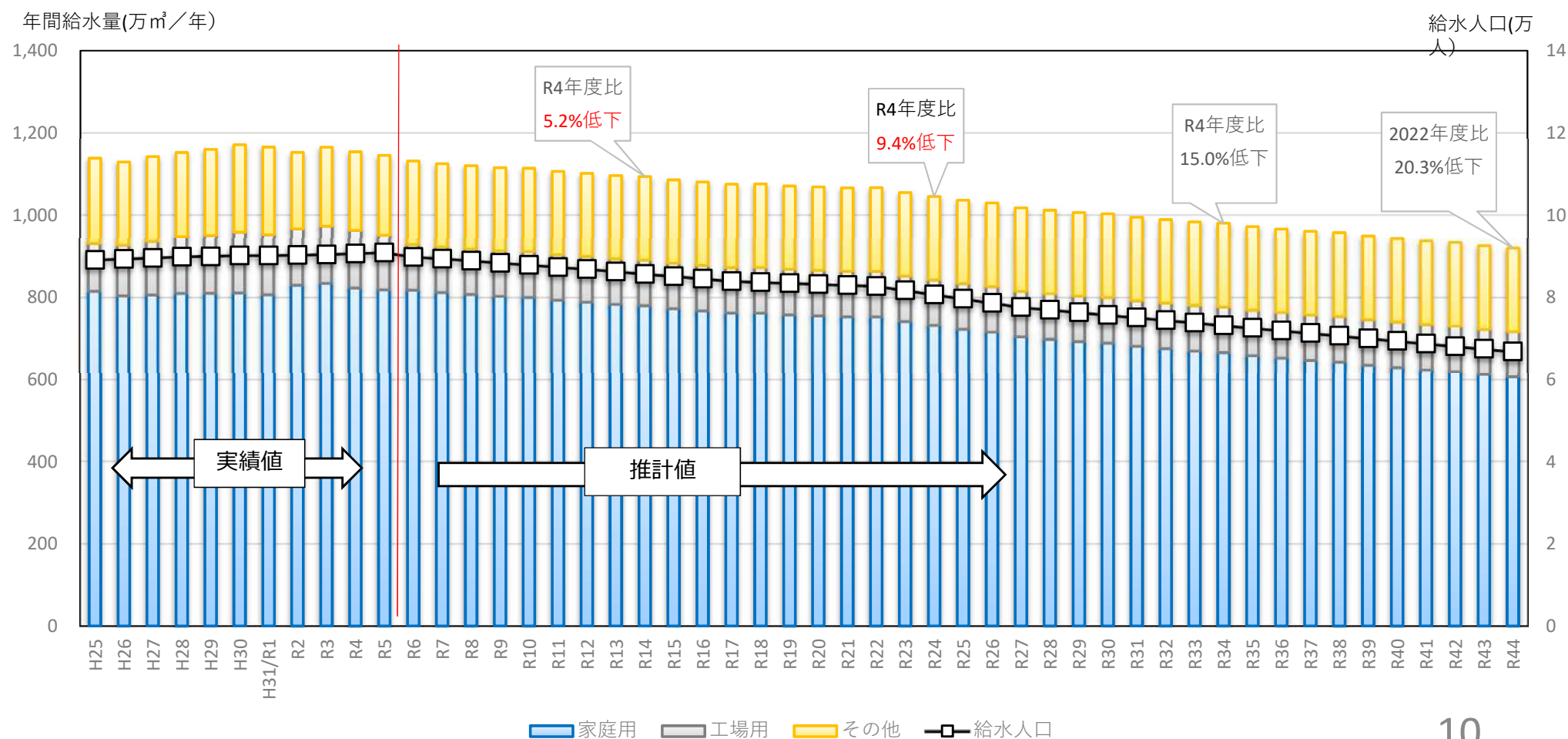
令和6年度～令和15年度の10年間

ポイント

- ①今後の人口減少等を加味した料金収入の的確な反映
- ②施設の老朽化を踏まえた将来における所要の更新費用の的確な反映
- ③物価上昇等を反映した維持管理費、委託費、動力費等の上昇傾向等の的確な反映
- ④収支を維持するうえで必要となる経営改革（料金改定等）の検討

水道事業経営戦略について～主な課題～

- 年間給水量の減少
 - 節水機器の普及、人口減少、大口事業者の影響により年間給水量の減少

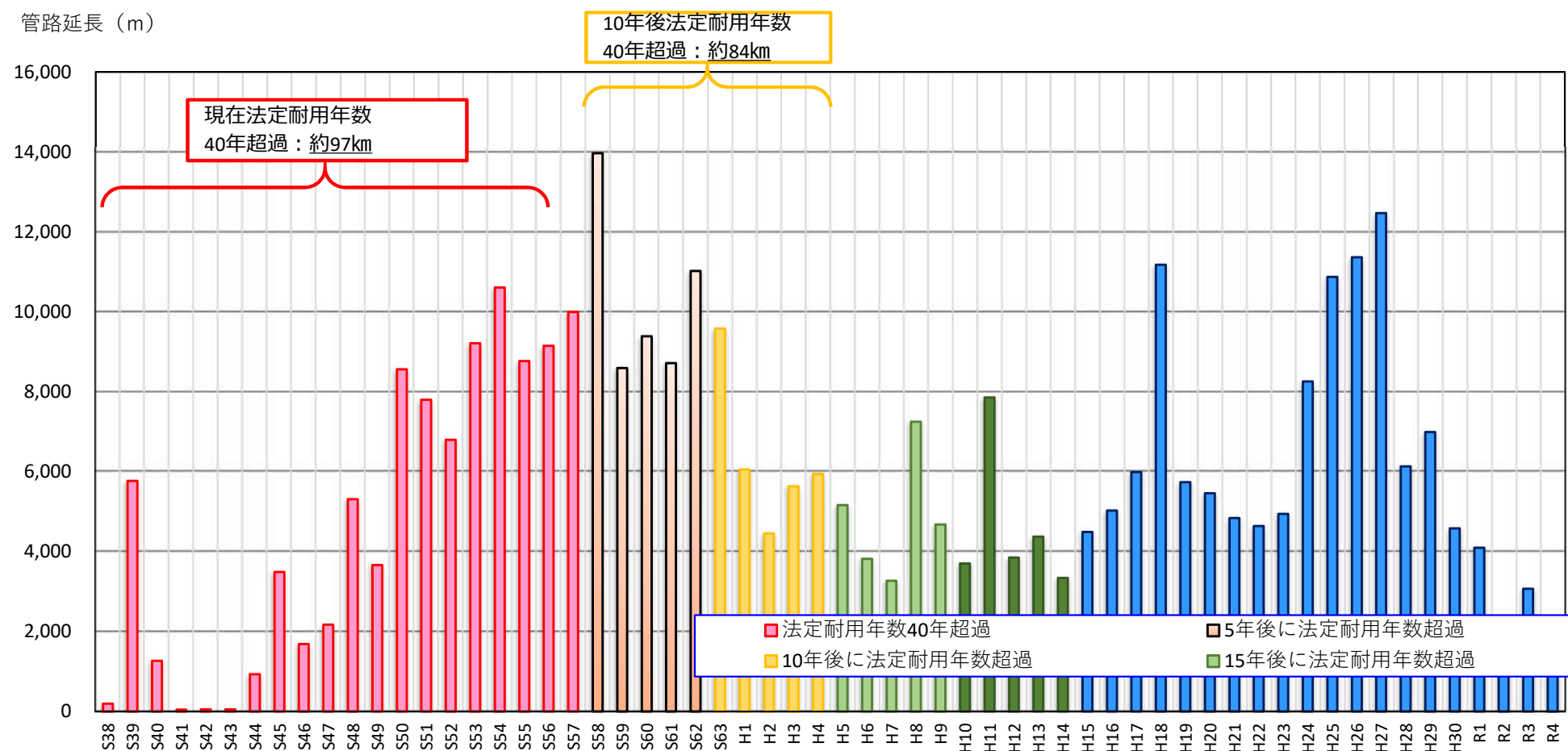


水道事業経営戦略について～主な課題～

- 水道施設の老朽化、耐震化の推進

- 管路の老朽管対策、耐震化の推進

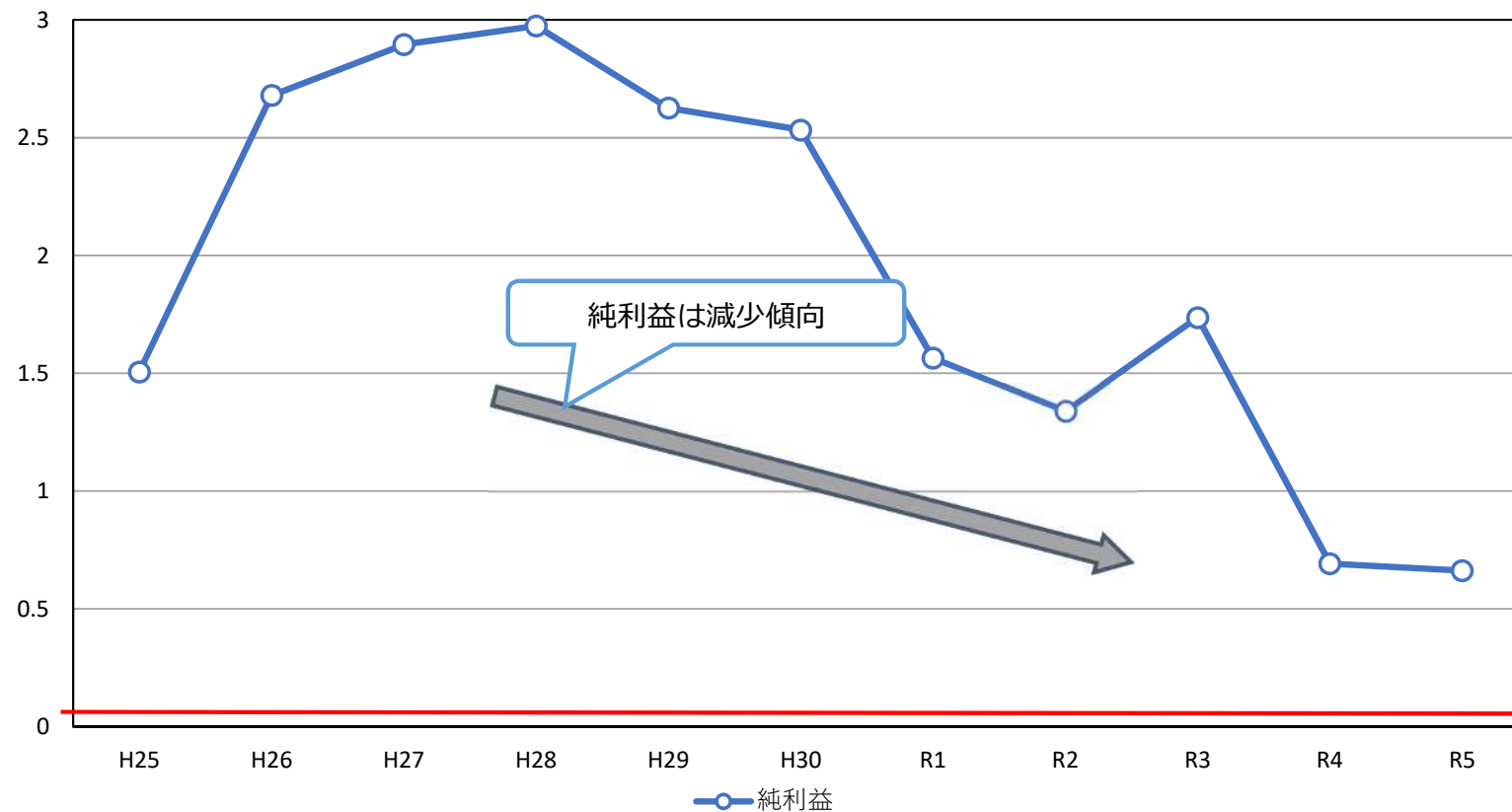
老朽管の割合:27.5% 耐震化率33.4%



水道事業経営戦略について～主な課題～

- 水道事業の経営状況① 純利益の減少
 - 料金収入の減、維持管理費、委託費、修繕費、動力費等の増

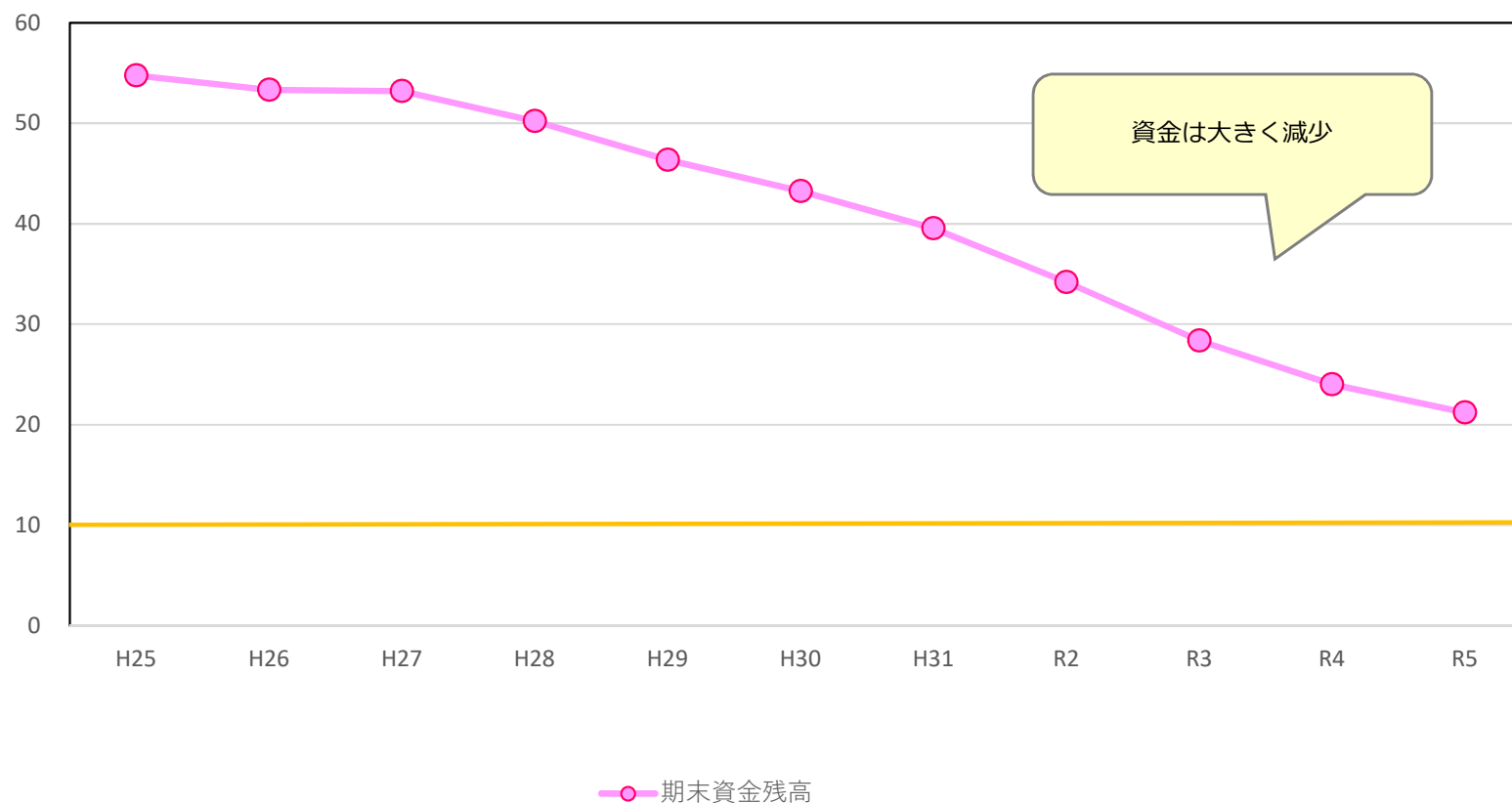
純利益(億円)



水道事業経営戦略について～主な課題

- 水道事業の経営状況② 資金残高の減少
 - 構造物の耐震化、老朽管更新工事などの建設改良費の増

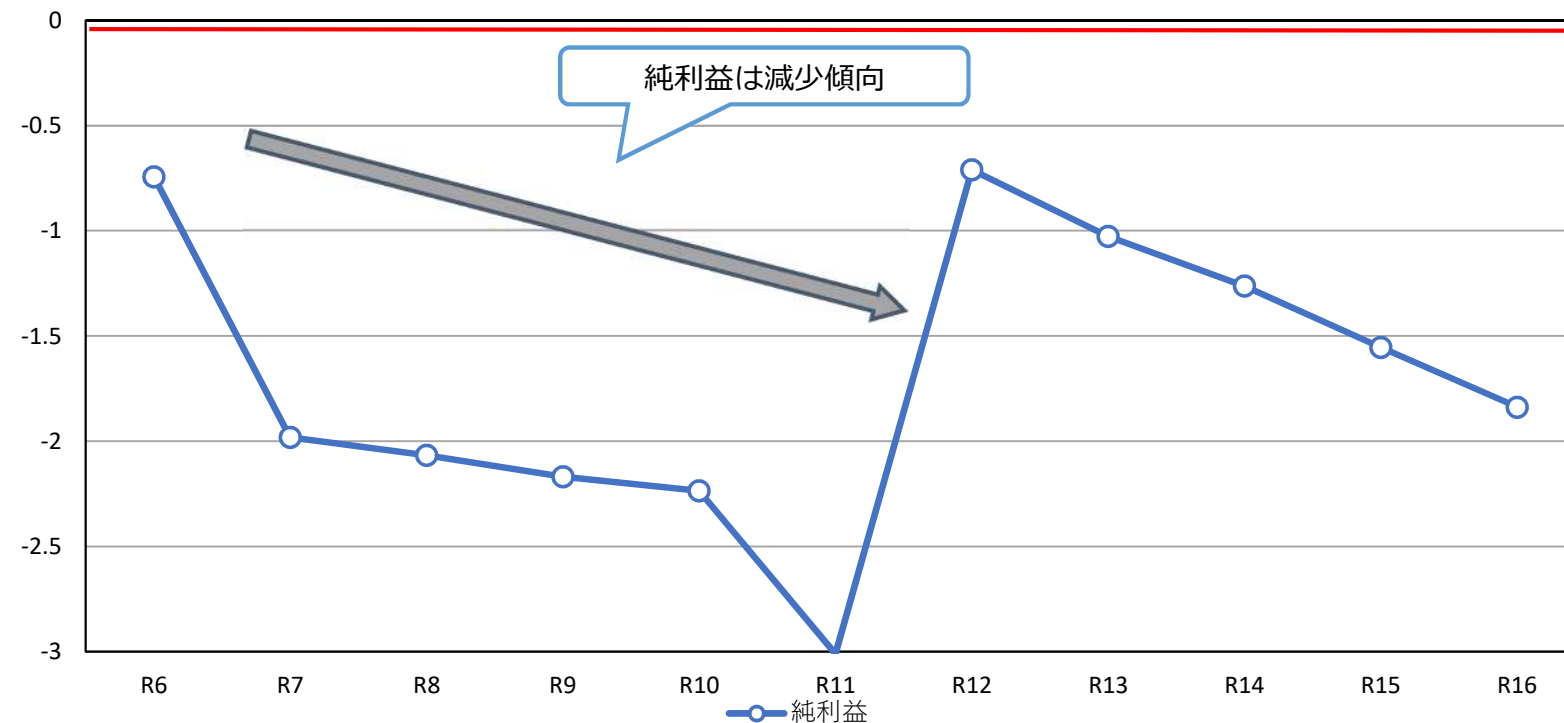
資金残高(億円)



水道事業経営戦略について～財政シミュレーション～

- 収益的収支 令和6年以降慢性的な赤字
 - 料金収入の減、維持管理費、委託費、修繕費、動力費、県水受水費の増による

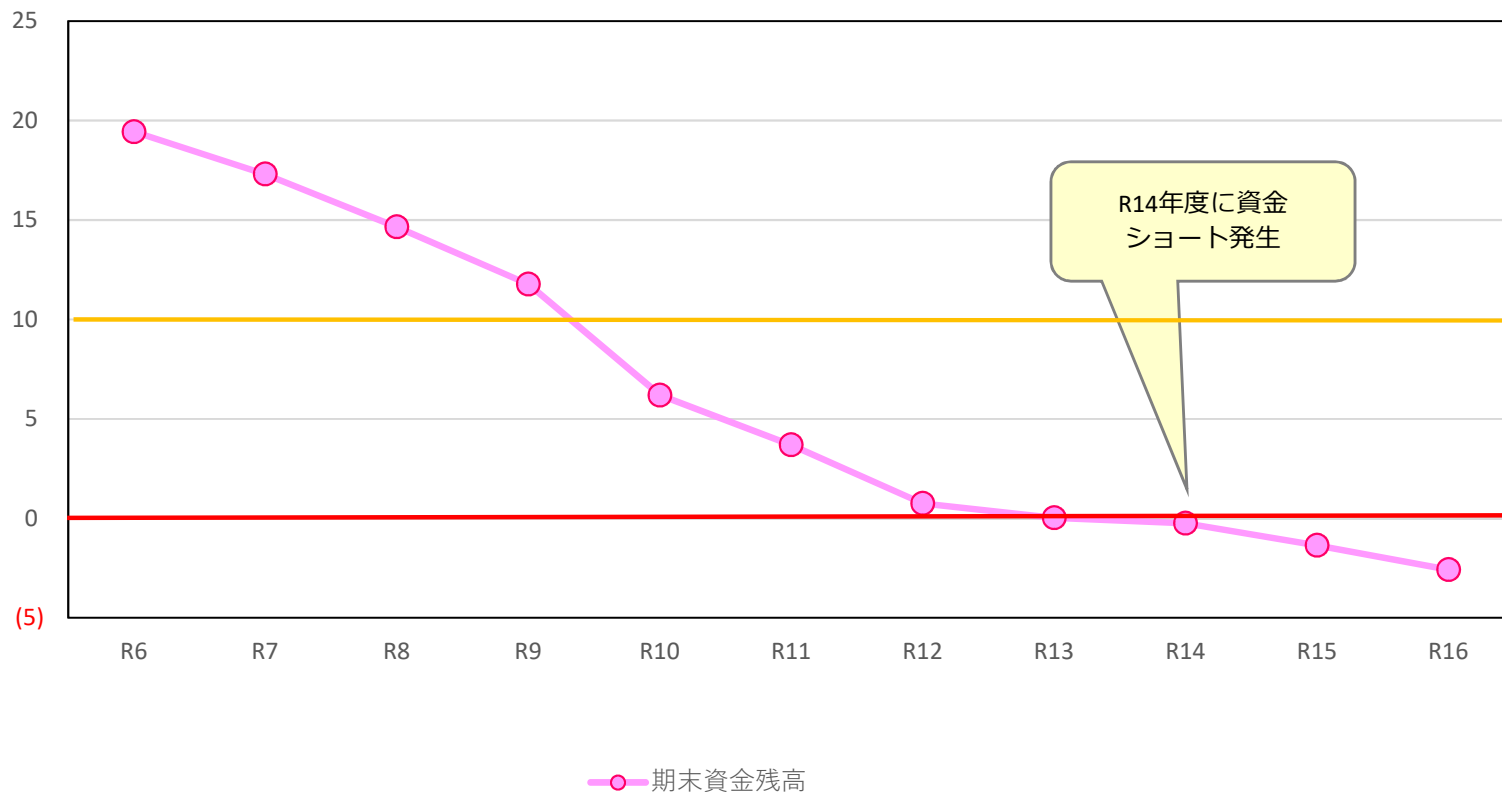
純利益(億円)



水道事業経営戦略について～財政シミュレーション～

- 資本的収支 更新費用等に対して収入が不足
 - 資金残高は減少 令和14年度に資金ショート

資金残高(億円)



水道事業経営戦略について～財源対策～

投資（更新費用）及び投資以外の経費の再検討

- 優先順位付け、平準化を実施 管路布設費6億円→3億円

水道事業債の活用

- 資金の平準化及び世代間負担の公平性

第一浄水場の更新のみ→1億円／年

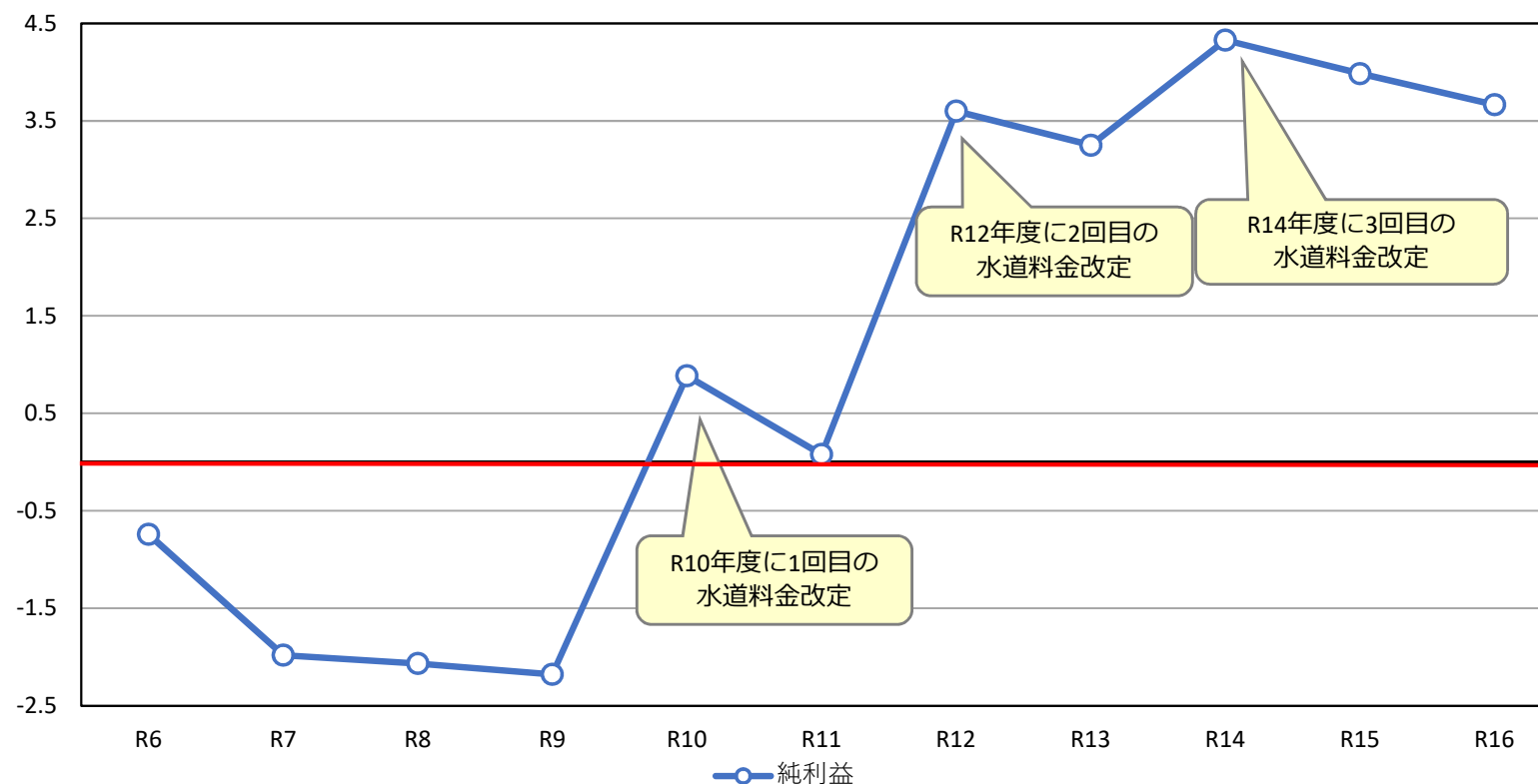
水道料金の改定

- 水道施設更新に必要な資金を確保
- 令和12年_16% 令和17年_10%
→令和10年_20%、令和12年_20%、令和14年_6%

水道事業経営戦略について～財源対策後～

- 収益的収支 令和10年度20%、令和12年度20%、令和14年度6%の料金改定
 - 令和6年度～令和9年度は赤字。令和10年度からは黒字を確保。

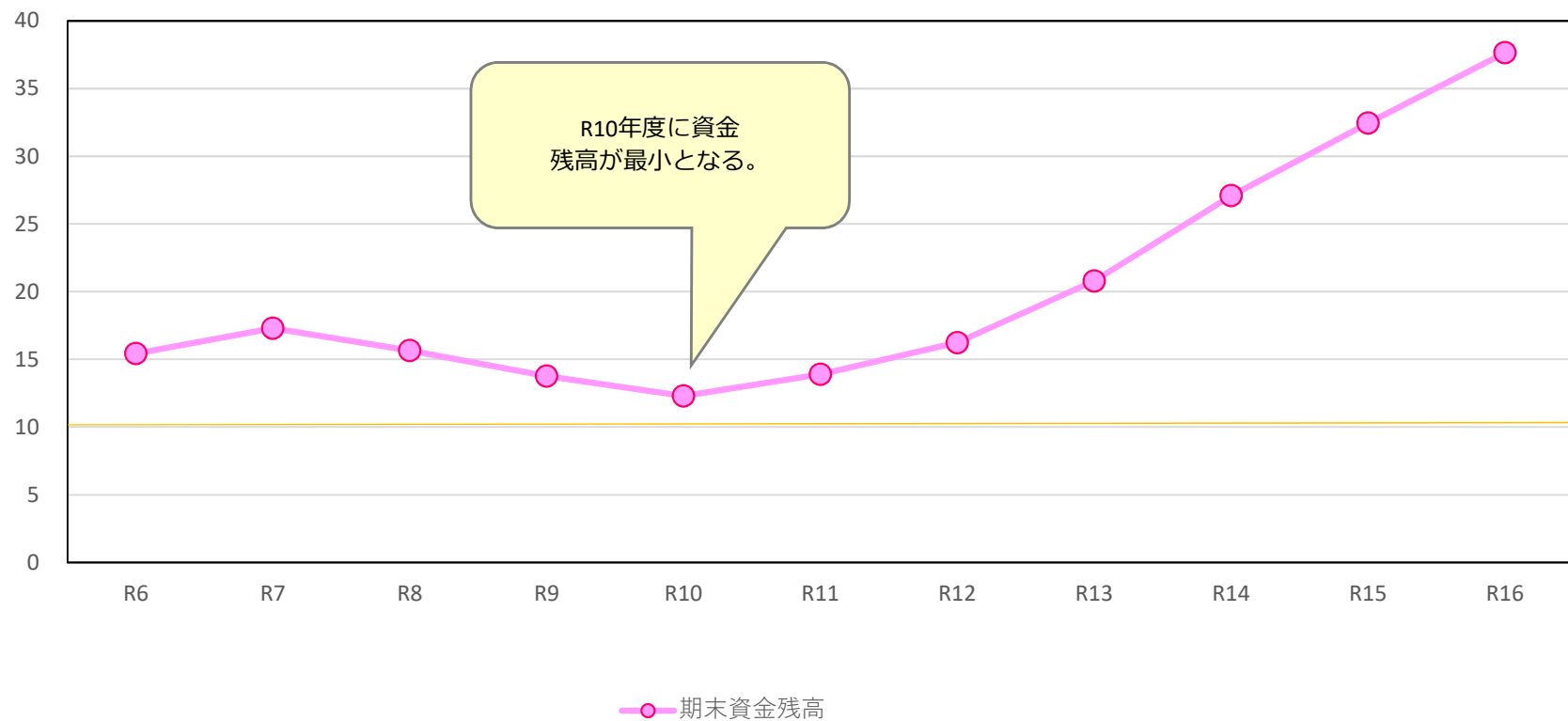
純利益(億円)



水道事業経営戦略について～財源対策後～

- 資本的収支 令和10年度の料金改定以降資金残高が回復。
 - 資金残高の状況を勘案しつつ、更新費用等の増額を検討できる。

資金残高(億円)



水道事業経営戦略について～目標～

投資（耐震化）に関する目標

	令和4年度時点	令和10年度 経営戦略中間年度	令和15年度 経営戦略最終年度
浄水施設の耐震化率	0%	0%	90.0%
貯水池の耐震化率	3.0%	49.6%	90.8%
管路の耐震化率	33.0%	35.6%	37.7%

財政に関する目標

	令和4年度時点	令和10年度 経営戦略中間年度	令和15年度 経営戦略最終年度
経常収支比率	103.9%	100%	100%
期末資金残高	24.0億円	10億円以上	10億円以上

水道料金について～国からの通知～

- 「水道施設の更新に係る状況を踏まえた計画的な更新及び適正な水道料金の設定等の促進について」 R5.7.6厚生労働省

水道施設の更新・耐震化について

- 管種や布設状況等から更新時期を判断し、計画的に更新

資産維持費を含む適正な水道料金の設定について

- 水道料金は、能率的な経営の下における適正な原価に照らし、健全な運営を確保することができる公正妥当なもの
- 水道料金は3年から5年ごとに適切な時期に見直す
- 水道料金の基礎には資産維持費を含める必要がある

水道料金について～東松山市の水道料金～

現行料金体系の特徴

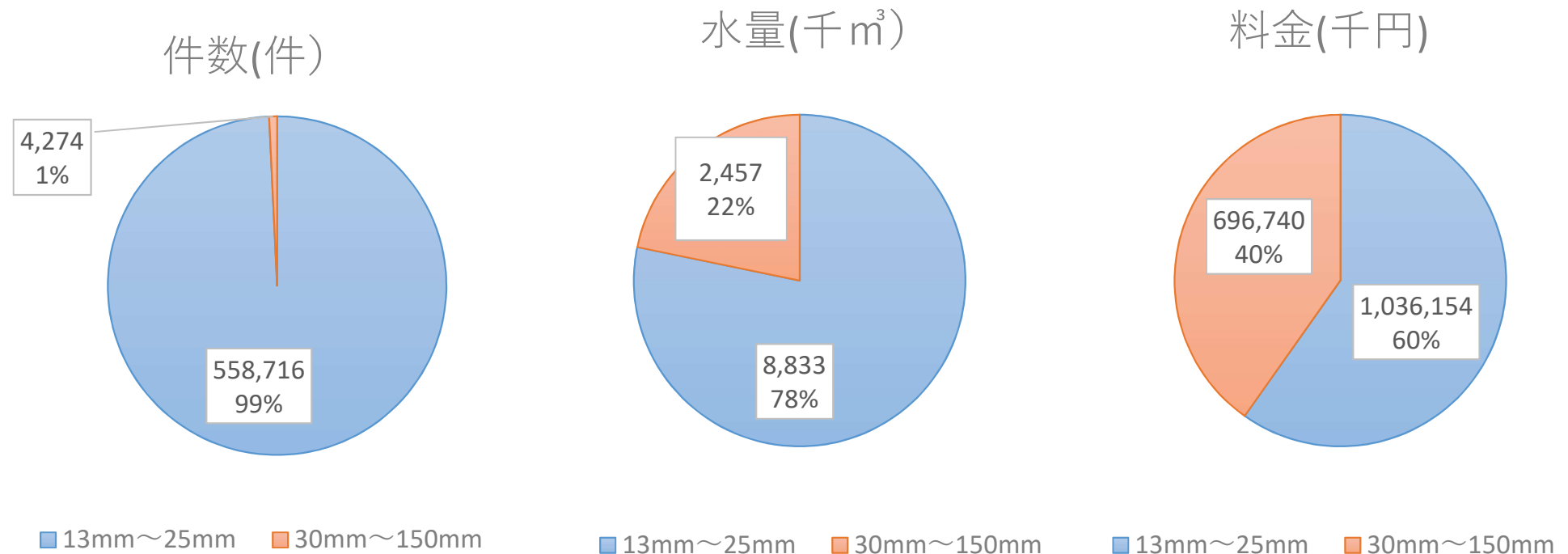
- 基本料金体系：口径別料金体系
- 二部料金制：基本料金と従量料金を組み合わせた料金制度
- 基本水量：10m³/月
- 従量料金：逦増型従量料金体系（超過料金）

【1ヵ月】 (税抜)

メーター口径	基本料金		超過料金（円/1m ³ 当たり）	
	使用水量	料金	使用水量	料金
13mm	10m ³ まで	750	11～15m ³	85
20mm		750	16～30m ³	115
25mm		750	31～50m ³	150
30mm		5,600	51～80m ³	190
40mm		10,100	81～120m ³	225
50mm		15,000	121m ³ ～	255
75mm		38,600	プール・浴場用 11m ³ ～	135
100mm		64,500		
150mm		142,000		
200mm		200,000		

水道料金について～東松山市の水道料金～

- 令和6年度水量区分による延べ件数・水量・料金の割合



- 13mm～25mmまでの利用件数は全体の99%となっています。
- 30mm～150mmの利用件数は1%ですが、料金の40%を占めています。

水道料金について～料金改定状況～

	改定状況	備考
滑川町	R8.4改定予定	答申
嵐山町		審議中
小川町	R6.10改定済	改定率21%
川島町	R7.10改定	改定率30%
吉見町	R6.10改定済	改定率25%

	改定状況	備考
鳩山町		
ときがわ町	R4.10改定済	改定率39%
東秩父村	R8改定予定	答申
熊谷市	R2.4改定済	改定率20%
坂戸・鶴ヶ島		

水道料金について～他団体比較～

・ 県内 55 団体中 下から数えて 3 番目

・ 13mmで10m³/1ヵ月当たり使用した場合（税込み） R7.4.1現在

	団体名	料金		団体名	料金		団体名	料金
1	ときがわ町	1,947	18	上尾市	1,320	38	入間市	1,100
2	秩父広域市町村圏組合	1,848	18	伊奈町	1,320	40	本庄市	1,089
3	越生町	1,705	22	志木市	1,309	41	越谷・松伏水道企業団	1,045
4	久喜市	1,661	23	吉川市	1,302	42	蕨市	990
5	加須市	1,540	24	吉見町	1,298	42	狭山市	990
6	寄居町	1,490	25	美里町	1,280	42	富士見市	990
7	行田市	1,474	26	ふじみ野市	1,261	42	川越市	990
8	宮代町	1,463	27	上里町	1,254	46	鳩山町	968
8	白岡市	1,463	28	毛呂山町	1,251	47	三芳町	962
10	坂戸、鶴ヶ島水道企業団	1,430	29	深谷市	1,210	47	嵐山町	962
11	小川町	1,419	29	幸手市	1,210	49	所沢市	924
12	鴻巣市	1,408	29	飯能市	1,210	50	滑川町	880
13	羽生市	1,375	29	日高市	1,210	51	和光市	841
13	杉戸町	1,375	33	春日部市	1,199	52	草加市	825
15	さいたま市	1,364	34	戸田市	1,155	52	東松山市	825
16	桶川北本水道企業団	1,353	34	朝霞市	1,155	54	三郷市	770
17	蓮田市	1,336	34	新座市	1,155	55	川島町	756
18	神川町	1,320	37	川口市	1,111		県平均	1,227
18	熊谷市	1,320	38	八潮市	1,100			